



保安品質方針

JCO 事故、福島第一事故のようなこれまでの原子力に関する重大な事故の経験を踏まえ、我々は原子力安全の追求には終わりのないことを肝に銘じ、自ら保安活動の改善を図るため、保安品質に関する活動方針を定める。

- 方針1 安全第一を行動のよりどころとする。
- 方針2 自らの役割を認識し、責任を誠実に果たす。
- 方針3 違和感があれば立ち止まり、懸念があれば迷わず意見を表明する。
- 方針4 P D C A サイクルを回し、保安品質を継続的に改善する。
- 方針5 法令を満足するだけでなく、社会に受け入れられ、常に信頼されることを目指す。

重点項目

- 重点1 正しい手順やルールに基づき、ヒューマンエラーによる事故やトラブルを起こさない。
- 重点2 日常の保安活動を、スリーエス 3 S の観点から検討し、安全に遂行する。
- 重点3 CAP 活動（改善措置活動）における未然防止措置の有効性を更に高めることを意識する。

2025 年 4 月 1 日
原子燃料工業株式会社
社長 伊藤 義章